



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 丸運

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 住吉 彰

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,801	0.4	△83	—	△49	—	△100	—
25年3月期第1四半期	11,750	△0.3	83	△62.4	106	△57.7	7	△96.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △20百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △175百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.47	—
25年3月期第1四半期	0.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	39,790	18,719	46.5	641.04
25年3月期	40,482	18,843	46.1	645.35

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,522百万円 25年3月期 18,646百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,900	1.7	△60	—	△50	—	△60	—	△2.08
通期	49,400	2.1	610	—	600	—	230	—	7.96

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	28,965,449 株	25年3月期	28,965,449 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	71,937 株	25年3月期	71,882 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	28,893,530 株	25年3月期1Q	28,893,907 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、本日(平成25年7月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府の金融・財政政策等により株高・円安が招来され、景気回復へ向かうことが期待されるものの、中国の景気調整を含む世界経済の下振れリスクから、先行きは不透明な状況のままとなっております。

陸運業界においては、景気回復に伴い改善傾向はみられますが、一部の業種を除き輸送量が前期比で減少しており、全体としては依然として荷動きが停滞した状況であります。また、円安に伴い燃油費が上昇する一方、同業者間競争等により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは①石油輸送事業に於ける安全管理体制の再構築②貨物輸送事業に於ける物流品質の標準化、物流センターの一部再編によるコスト競争力の強化、新規荷主の獲得③貨物輸送事業部門から分離し、流通貨物事業として専門的に事業の黒字化を急ぐ食品物流事業の運営コスト削減・営業力の強化④国際貨物事業に於ける中国拠点の業容拡大等に注力し、業績回復に努めてまいりました。

これらの結果、貨物輸送事業部門の減収はあったものの、流通貨物事業部門、国際貨物事業部門の増収により、営業収益は前年同期並みの118億1百万円となりました。経常損益は、月次の赤字は前四半期に比し半減したものの黒字化を達成できなかった流通貨物部門の損失により、49百万円の損失となりました。また、固定資産減損損失等の計上により当四半期純損益は、1億円の損失となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

#### 貨物輸送

当部門の主力である一般貨物輸送・倉庫事業については、羽田京浜物流センターの稼働による取扱量の増加はありましたが、国内貨物輸送量が停滞する中で、貨物輸送量は減少しました。

鉄道利用運送においては、新規顧客獲得に努めましたが、貨物取扱量は大幅な減少となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ3.6%の減収となりました。

また、経常利益は物流センターの補修及び営業収益の減少に伴い前年同期に比べ67百万円減益の1億7百万円となりました。

#### 流通貨物

当第1四半期から、従来は貨物輸送に含んでいた食品物流事業を流通貨物として新たなセグメントに分離しました。当部門は主に、合弁による低温物流事業と3PL受託事業から構成されており、最大の課題はこの3PL受託事業の赤字脱却です。当期は赤字額半減（前四半期比）に止まりましたが、第2四半期末にて契約解除することとしました。

#### 液体輸送

当部門の主力である石油輸送は、石油需要が減退しているため輸送量が減少しました。

化成品輸送については、出荷基地の変更により長距離輸送が増加しました。

これらの結果、営業収益はほぼ前年同期並みとなりました。

また、経常利益はコスト削減等により前年同期に比べ15百万円増益の24百万円となりました。

#### 国際貨物

当部門においては、中国における新規倉庫業が軌道に乗ってきたこと、国内ユーザーの新規設備輸送を受注できたことにより、営業収益は増加しました。なお、当第1四半期から中国の在外子会社1社を連結の範囲に含めております。

これらの結果、営業収益は前年同期に比べ9.4%の増収となり、経常利益についても前年同期に比べ4百万円増益の18百万円となりました。

当第1四半期のセグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益（百万円）	前年同期比（％）	経常利益（百万円）	増減額（百万円）
貨物輸送	6,279	96.4	107	△67
流通貨物	648	141.1	△220	△141
液体輸送	3,508	99.8	24	15
国際貨物	1,315	109.4	18	4
その他	49	92.3	21	32
合計	11,801	100.4	△49	△155

- (注) 1. その他はビル賃貸、保険代理店及び各報告セグメントに分配していない全社収益・費用の純額等であります。  
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。  
3. 本年実施した組織再編に伴い、事業セグメントを上記のとおり変更し、前年同期比については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は397億90百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ6億92百万円減少しました。

このうち、流動資産は88億92百万円となり、4億45百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未収入金の減少2億82百万円、現金及び預金の減少2億81百万円であります。また、固定資産は308億75百万円となり、2億42百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産の減価償却が進んだことに伴う減少等によるものであります。

当第1四半期末の負債合計は210億71百万円となり、前期末に比べ5億68百万円減少しました。

この主な要因は、借入金の増加が2億47百万円ありましたが季節差による営業未払金の減少3億94百万円、納税による未払法人税等の減少1億76百万円、賞与引当金の減少3億10百万円であります。

純資産合計は187億19百万円となり、前期末に比べ1億23百万円減少しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加が82百万円ありましたが、株主配当による利益剰余金の減少86百万円及び当第1四半期純損失が1億円になったこと等によるものであります。この結果、純資産合計は減ったものの、総資産も減った為に自己資本比率は前期末の46.1%から46.5%と増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表しました平成26年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本日（平成25年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り修正しておりますのでご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,092	1,811
受取手形及び営業未収入金	6,161	5,832
有価証券	30	30
商品及び製品	5	5
原材料及び貯蔵品	38	38
その他	1,014	1,177
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	9,337	8,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,391	7,292
土地	18,335	18,308
その他（純額）	2,351	2,233
有形固定資産合計	28,078	27,834
無形固定資産		
投資その他の資産	204	211
投資有価証券	2,114	2,214
その他	809	702
貸倒引当金	△89	△86
投資その他の資産合計	2,835	2,830
固定資産合計	31,118	30,875
繰延資産	27	22
資産合計	40,482	39,790
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,139	3,744
短期借入金	4,653	5,065
未払法人税等	199	23
賞与引当金	578	267
その他	2,310	2,440
流動負債合計	11,880	11,541
固定負債		
長期借入金	4,423	4,259
再評価に係る繰延税金負債	2,390	2,387
退職給付引当金	2,193	2,198
役員退職慰労引当金	53	37
その他	698	646
固定負債合計	9,759	9,529
負債合計	21,639	21,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	9,375	9,177
自己株式	△20	△20
株主資本合計	15,991	15,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	514
土地再評価差額金	2,223	2,217
為替換算調整勘定	—	△4
その他の包括利益累計額合計	2,654	2,727
少数株主持分	196	197
純資産合計	18,843	18,719
負債純資産合計	40,482	39,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業収益	11,750	11,801
営業原価	11,083	11,281
営業総利益	666	519
販売費及び一般管理費	583	603
営業利益又は営業損失(△)	83	△83
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	29
未払金戻入益	—	14
その他	24	17
営業外収益合計	52	61
営業外費用		
支払利息	20	20
その他	8	7
営業外費用合計	29	27
経常利益又は経常損失(△)	106	△49
特別利益		
固定資産売却益	13	12
その他	—	1
特別利益合計	13	14
特別損失		
固定資産除売却損	3	19
減損損失	11	26
その他	2	—
特別損失合計	17	46
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	102	△81
法人税、住民税及び事業税	18	13
法人税等調整額	83	4
法人税等合計	102	17
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△0	△99
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7	△100



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△0	△99
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	82
為替換算調整勘定	—	△4
その他の包括利益合計	△175	78
四半期包括利益	△175	△20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	△21
少数株主に係る四半期包括利益	△7	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。